

●代表質問の要旨

一、市長の政治姿勢について

- ① 財政の諸課題
(公債費比率の見通しについて)
(ZAOなどに対する財政支援策について)
- ② 協働のまちづくり
- ③ 職員の福利厚生
(職員互助会の市の負担金について)
- ④ 自治体改革推進会議
(労使交渉との線引きについて)
- ⑤ 指定管理者制度
(公共施設の管理委託について)
- ⑥ 競馬事業(サブブレット導入について)
- ⑦ 情報公開・ホームページの充実
(電子会議室の設置について)
- ⑧ 行政推進委員の活動
(活動内容の公開について)

二、民生福祉行政について

- ① 介護保険事業(地域包括支援センターへ

の取組みについて)

- ② 禁煙対策
(市役所の禁煙の取組みについて)
- ③ 子育て支援事業
(インフルエンザワクチン接種について)
- ④ 中国帰国者支援(残留孤児や家族に対する差別について)

三、環境行政について

- ① 芦田川環境対策(環境マネジメントセンターの取組みについて)
- ② ごみ対策(ばら祭におけるクリーンプロジェクトについて)
- ③ 地球温暖化防止対策(温暖化防止キャンペーン、チームマイナス6%への参加)
- ④ 枯損木の処理策
(ハレットストープの普及について)

四、商工労働行政について

- ① 農業・観光振興
(保命酒を使った土産物のPRについて)
- ② 中心市街地の活性化



皆さんこんにちは、大田ゆうすけです。6月定例議会にて、初めて本会議における代表質問に登壇しました。質問の要旨をご紹介します。なお議事録及び録画中継は、福山市のホームページからご覧いただくことも可能です。

- (福山城の地下遺構の保存について)
- ③ 中央図書館整備
(中央公園のステージ設置について)

五、消防行政について

- ① 山林火災(山間部における防火用水の確保について)

六、教育行政について

- ① スポーツ振興(駅伝大会の振興、中学校クラブ活動の活性化について)
- ② 学級崩壊
(小学校1年生のしつけについて)
- ③ 不登校児童・生徒への対応(スクールカウンセリングプロジェクトについて)
- ④ 歴史文化の継承(戦争の語り部の支援、ヒナゴン・男たちの大和について)

●代表質問トピックス

「自治体改革推進会議」についてその設置の合理性を質しました。

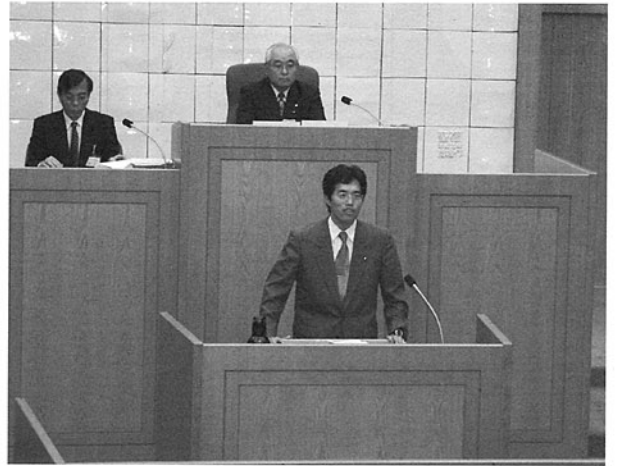
経緯を簡単に説明しますと、緑風会が3月議会で「組合活動に専念している職員7人(無給)以外に、組合活動をしながら市の業務に従事している8人の職員に市が給与を支給するのは「ヤミ専従」ではないか？」と質問しました。

それに対する答弁は、「8人はそれぞれ自治体改革推進委員、厚生事業委員、安全衛生委員として、組合活動ではなく職員としての福利厚生、給与と制度、労働安全衛生等の課題の改善に向けた業務に日々従事しているもので、本市が目指す労使協働という労使関係の中で、それぞれの委員として業務に取り組んでいるものであります。」と

答弁がありました。そして、この度の総務委員会にて、「低年齢児保育、延長保育などの保育サービスの充実、また、職員定数の削減、特殊勤務手当見直し、調整手当廃止、などなど行財政改革の推進が行えたのも委員会活動の成果の一つであり、本市が健全な財政状況を維持し続けてきた要因の一つでもある。」と、これまでの委員会の成果を説明され、従来の委員会活動を市の業務として位置づける「自治体改革推進会議」設置要綱を作り、7月1日から実施するとの事です。

しかし、組合と市長(執行部)が協働して行革を進めていくと言われて、それは結構な事ではなかなかに言いにくいと思います。なぜなら大阪市を始め全国の多くの自治体において労働組合が行革のネックになっており、福山市だけが例外なのか、今後とも注視が必要だと思えます。





なお、この会議設置要項は、三重県の「労使協働委員会」を参考に作られたと聞きましたので、私も三重県の担当部署に電話をして設置の経緯や、成果について問い合わせを行いました。改革派知事として有名な北川前知事のリーダーシップによるものであって、担当者は私に、三重県と福山市はスタートが違いますと言われました。三重県では従来の「アンダー・ザ・テーブル」の労使交渉ではないので、労使交渉をオープンにした、あくまで内発的なものであり、福山市のように市民や議会からの指摘によるものではないとの事です。

しかし、設置経緯は違っても、全国でも例の少ない先進的な取り組みである三重県と目標が一緒であるならば、ぜひ福山市においても同様の成果を出してもらいたいと、市長に要望しました。

参考として、北川前三重県知事の大阪市の職員厚遇問題に関するコメントを下記に紹介します。

【産経新聞6月30号より引用】
大阪市は、このピンチを最大のチャンスだととらえるべきだ。

三重県でもH8年にカラ出張の問題が出て、「全部うみは出そうよ」と3ヶ月間、庁内で大激論があった。公務員は本来まじめだから、その中から「改革します」「自主返還します」「処分を受けます」という動きが自発的に出てきた。大阪市も内発的に変わるチャンスだと僕は期待している。

それにはトップがしっかりしていないといけない。トップと職員の違いは「非日常の決断」をせざるを得ないという点、しがらみを断ち切る勇気がなければだめだ。中央集権はさまざまな「なれ合い」を生んできた。行政当局と労働組合、議会。さらには市民、経済界も、みんなその体制を守ろうとした。労使のなれ合いは全国でいくらかでもあった。それを解消することが行政改革。組合も自身が徹底的に問題点を出す努力をやらねばいい。

この北川前知事のコメントを朗読したので、ヤジも随分と飛んだのですが(文章の朗読は法的に禁止されていないが、長すぎると良くない)論戦としては最も盛り上がりまして、傍聴した支援者の皆様にも良い質問であったとほめていただきました。

しかし、この論戦についてはどの新聞も取り上げませんが、会議設置について市議会で議論があったという報道はあつてしかるべきだと思えます。マスコミを通じて「自治体改革推進会議」設置の趣旨の周知を図るところが、真の改革の第二歩だと考えます。

対談

大田ゆうすけ VS 木村真弓



木村真弓さん

<プロフィール>
ここ数年、ばら祭や各種イベントで大活躍の「備後ばらバラよさこい踊り隊」の隊長であり、スタジオBBの代表として、ジャズダンスやエアロビクス等の指導に日々汗を流す健康ウーマンです。

Q 大田さんは私達と同年代の市会議員という事で、同世代はとつても期待していると思いますが、市会議員になって1年経った感想を教えてください。

A あつと言つ間の1年間でした。公私ともにいろいろな事があり、やつと落ち着いて仕事や勉強に取り組める状態になつたような気がします。

Q 議員さんの普段の仕事って何ですか？

A 実は、議会が開催され必ず市役所に登庁しないといけない日は年間100日程度で、その他の日の活動は各議員の裁量に任されています。私の場合は、様々な施策の先進地を視察に行ったり、勉強会や講演会に出かけて勉強したり、町内会や各種団体の会合に顔を出して要望を聞いたり、病院にお見舞いに行ったりと、とにかく人に会う事と、勉強する事が仕事のような状態です。まだまだ市民の皆様は活動の実態がわかりにくいと思いますので、今後ともホームページやメールマガジンなどでお知らせする予定です。あと、私の議会委員会での発言はすべて市のホームページ

の「議事録検索システム」により参照することができます。

Q 取り組んでいる課題は何ですか？

A 今、特に力を入れているのは、「環境問題」と「子育て支援」です。

環境問題では、「芦田川環境マネジメントセンター」に加入して、芦田川の水質浄化に取り組んでいます。芦田川の水質悪化の原因は生活排水ですので、各家庭における取組み(フライパンや食器に付いた油は拭きとって洗う、食べ残しを流さず、三角コーナーやごみ箱へを願ひします。ごみ減量問題では、福山市民は1日1100gのごみを出していますので、やはり各自がリサイクル・リユース・リデュースの「3R」を実践しなければなりません。地球温暖化防止では、移動手段として徒歩・自転車利用、冷房設定温度の上昇などが重要です。私も議会には自転車通勤ですし、家にはエアコンがありません。皆さんも少しでも「我慢」「もったいない」の精神を持ち、実践することが子孫に美しい地球を残す第二歩だと思います。

子育て支援では、全国病児保育研究大会の実行委員になったり、子供の禁煙のために学校の敷地内禁煙や、公共施設の禁煙に取り組んでいます。すでに議会の中でも「大田川禁煙」というイメージが定着しているようです。また子供の自然体験学習の機会の増加、中学校のクラブ活動活性化、スポーツ振興などに力を入れていくつもりです。

Q 様々なスポーツイベントに参加されているようですが？

A よく運動会とかの来賓席に座っている議員さんがいますよね。私はそれではつま



ないし、やはり皆さんと一緒に参加したいという気持ちが強いのです。今年に入ってから、50km夜間歩行(福山→上下を12時間で完歩)、福山マラソン(10kmを44分で完走)、比婆山スカイラン(18・5kmの山岳コースを2時間36分で完走)などに参加しました。市民の健康増進のためにも、福山のスポーツイベントをさらに活性化させていきたいですね。

Q 奥さんは大変ではないですか？

A 私以上に変だと思えますが、よくやってくれていると思います。ある意味、私より人気者ですね。ごだけの話ですが、次は奥さんが出たほうが票が増えるとも言われています。(笑)

Q 議員になって良かった点、悪かった点はありますか？

A 良かったことは、いろいろな人に出会い、人間関係が飛躍的に広がったことです。悪かった点は、プライベートが無くなった事と、人の顔と名前が憶えられず、支援者の方に対して失礼な対応をしてしまう事です。

Q 趣味、特技は何ですか？逆に苦手なものは？

A 趣味はたくさんありますよ。山登り、スキー、カヌー、ジョギング、サイクリング、オートバイ、キャンプ、ガーデニングなど、アウトドア全般です。特技は、スキーと水泳ですね。スキーはスキー場では飽き足らず、富士山の頂上から滑ったり、水泳は昔取った杵柄で、今でもトライアスロンやマスタースズ水泳大会に出場しています。

Q パチンコも球技ですか？(笑)

Q ところで「議会」ってどんなところですか？先輩議員によると「動物園」と表現される方もいます。

Q 動物園って？

A キツネや狸がいるというジョークです。(笑) 42人の議員がいますが、皆さん個性的で、1年生の私に対してもアドバイスやヤジによる激励をいただいております。特に同じ党派(緑風会)の先輩議員には何かとお世話になっていますし、1年生議員8人による勉強会などもしています。議会はあくまで多数決の世界であり、一人では何もできませんから、今後は同議員を少しでも増やして、市民のための施策を市政に反映させることができたらと考えています。

Q いじめられていますか？(笑)

A 鍛えてもらっています。(笑)

Q 市の職員さんとの関係はどうですか？

A 議員は市の職員に対して、要望や文句を言うだけの存在であってはいけないと考えています。私も職員の皆さんと協働して市役所のポテンシャルを上げたいと考えています。しかし議員は何千人もの市民の代

弁者ですから、正当な要望に対しては、真摯に対応していただく必要があります。例えば私の「市のホームページにアクセスカウンターを設置するべし」という要望が、すでに7ヶ月間放置されています。

Q アクセスカウンターなんてすぐにも付ければよさね？あれがあるとホームページが賑わっているかどうかが目瞭然だと思えますが。

Q 福山のまちづくりに対する思いを聞かせてください。

A 木村さんの取り組んでいる「よさこい踊り」などは、本当に素晴らしいまちづくりだと感じています。成人式でも例年騒々しい新成人が、皆さんのパフォーマンスに見入っていましたからね。今年のばら祭「ローズパレード」には「よさこいパフォーマンスの部」もできて、一段と盛り上がりましたよね。私もインラインスケートチームの二員として参加したのですが、よさこいを通じてのまちづくりは全国で大変な盛り上がりを見せていますので、活気のあるまちづくりに向けて今後とも発展させていきたいものです。

Q インラインスケートを履いた大田さんは力ツ良かったですね！

A ありがとうございます。福山市は条例で公園内でのスケートボードやローラースケートは禁止されているのですが、若い人の間で滑る場所が無いという不満があります。そこで市民にアピールして存在感を示すべきではないかと助言し、私も率先して出場しました。

Q ばら祭では「スリレンジャー」の着ぐるみも着ておられましたね？

A 祭りにおけるごみ減量への取組みという事で、「アースレンジャー」と名乗ってごみ分

別やリサイクルの啓発を行いました。ごみ5R推進本舗の皆さんの指導により、東朋中学校の生徒さんや、競馬関係者や市職員さんによるクリーンパトロール隊により、過去最高の人出にもかかわらず、全ごみ量の40%をリサイクルに回すことができました。この試みを福山市全体に波及させたいと考えています。



Q 最後に今後の抱負を聞かせてください。

A いま福山市では「協働のまちづくり」を進めています。市民の皆さんには選挙の時だけでなく、もう少し市政に関心を持っていただき、ほんの少しでも結構ですから、知恵を出し汗を流して、より良いまちづくりにご協力いただきたいと思います。私も若さと行動力ががんばりますので、引き続き応援してください。木村さん、今日はありがとうございました。

Q ごちうそありがとうございます。くれぐれも今の純粋な気持ちをお忘れなくください。これからも若い世代の代表として、様々なイベント企画や人材育成を通して、まちづくりに反映させてください。



2005年上半期のトピックス

特別養護老人ホームにおけるノロウイルス集団感染問題(1月)

福山市におけるノロウイルス集団感染は全国的に大きな影響を呼び、老人医療・介護の現場に多大な影響を及ぼし、議会では私の所属する「民生福祉委員会」で協議が行われました。

当初、施設側の責任を問う声が大きく、隠蔽や管理瑕疵があったのではないかと疑念がマスメディアによって流布され、市民に多大な不安を与えた事と思います。

その後、調査が進むにつれて、ノロウイルスは特別なウイルスではなく、常在しており、他施設でも多くの感染者が発見され、当該施設に特別な管理瑕疵があったとは言えず、行政処分も見送りと成り、抜本的な対策と云えば、従来より繰り返言われてきた「手洗い」に尽きる事が再確認されました。

報道機関等への対応にあたっては、原因や責任の所在が確定できない段階での対応には、十分な配慮が求められると共に、今回の教訓を今後に生かし、市民が安心して利用でき、また施設側にとつても効率的かつ安全な体制整備や、後方支援体制の指針を示すべきであつたと思ひます。

3月議会で神辺町との合併を議決しました。神辺町の合併が平成18年3月に決定し、合併建設計画も合意いたしました。この計画に伴うインフラ整備の重要課題の一つは、下水道整備であると思ひます。現在14.7%という神辺の下水道普及率が、今後10年間でどれだけ上昇する見込みかを本会議にて質問しましたら、36%という答弁がありました。周知のように高屋川浄化が芦田川浄化の鍵を握っていると言つても過言ではなく、福山市民にとつても大変喜ばしい事であると思ひます。

予算特別委員会にて「禁煙」について質問しました

「健康ふくやま21」の予算が1億円あまり組まれています。喫煙はたばこ税を上回る経済的損失があることを鑑み、公共施設の禁煙に積極的に取り組んでほしい。特に本庁舎においては、職員組合の厚生事業委員や安全衛生委員と協働し、職員の禁煙に取り組み、労使協働による真の「行革」を推進するべきです。市長は健康ふくやま21の総責任者として、市民の健康を守るべく事業の円滑な推進に努力することを要望しました。

競馬事業の行く末について

補助金詐欺取事件や累積赤字21億円という厳しい状況の中、30%カット大幅緊縮予算を組む、背水の陣で単年度収支均衡にむけて関係者が努力をされています。6月議会では、サラブレッド導入の可能性について質問しました。市長、競馬事務局長よ

市政報告会

現状の施設で検討するとの答弁があったのですが、翌日に助役よりサラブレッド導入には施設整備の必要があるとの訂正の答弁がありました。残念ながらサラブレッド導入に踏み切れない限り、福山競馬の存続が難しい事は間違いありません。関係者のためにも早急に指針を示していただきたいものです。

後援会

市政報告会を随時開催しております。要望があれば少人数でも伺いますので、声をかけてください。日々の活動報告はホームページにてご紹介いたしますので、ぜひご覧下さい。またメールマガジンの登録もぜひお願いします。

入会・退会・住所変更、「ゆうすけ通信」第1号が届いていない方は、後援会事務局までご連絡下さい。

電話 9321-7855
ファックス 9321-7858

今後の行事予定

- 8月13・14日 大田祥子杯・中学生硬式野球大会
 - 10月 2日 第2回芦田川カヌー4時間耐久レース
 - 11月13日 第2回グリーンライン駅伝
- ◎ 観戦及びご参加をお待ちしております。

上半期の行動結果

- 1月 1日 西穂高山荘で新年を迎える
- 1月 4日 福山市新年互礼会に参加
- 1月 9日 消防出初式・福山駅伝に出場
- 1月10日 成人式に出席
- 1月12日 民生福祉委員会(ノロウイルス問題)
- 1月15日 「虹の会・大田ゆうすけ新年会」を開催
- 1月16日 幼稚園の保護者会による「ピカリン・コンサート」を実施
- 1月18日 長野市視察(合併調査特別委員会)
- 1月23日 「家族環境小学校inみゆき」に参加
- 1月25日 高槻市・豊田市視察(都市整備特別委員会)
- 2月 6日 「大田ゆうすけスキーツアー」
- 2月11日 「建国を祝う会」に出席
- 2月19日 「50km夜間歩行」に参加
- 2月24日 議員研修会に参加
- 3月 6日 輛の「ひな祭り」に参加
- 3月13日 「どか〜ん!芦田川清掃」に参加
- 3月19日 全国老人デイクア研究大会に参加
- 3月20日 福山マラソンに出場
- 3月23日 南小学校卒業式に出席(37歳の誕生日)
- 3月28日 世田谷区プレーパーク視察、厚生労働省訪問
- 4月 3日 村上水軍ひょうたん島シーカヤックツアーに参加
- 4月 7日 多治米小学校入学式に出席、「天国はつくるもの」上映会
- 4月10日 福山山岳会総会に出席
- 4月15日 福山市立福山中学視察
- 4月17日 井原市議会議員選挙を応援
- 4月24日 「てんごーの会」を開催、芦田川で手長エビを探す
- 5月 1日 鯛網・開幕式に参加
- 5月 5日 サイクルショップKENZ主催の牛窓サイクリングに参加
- 5月 7日 福山市戦没者慰霊祭に出席
- 5月10日 市川市NPO1%支援法視察
- 5月13日 CAC医療技術専門学校にて講義
- 5月14日 あゆみの会総会出席
- 5月15日 ばら祭・ローズパレード参加
- 5月20日 大田祥子一周忌、遺稿集「ありがとう」の発刊
- 5月22日 第16回比婆山スカイラン出場
- 5月29日 大田祥子追悼登山(比婆山)
- 6月 4日 服部「ほたる祭」に参加
- 6月 5日 芦田川環境マネジメントセンター「川の健康診断」に参加
- 6月11日 ローズアリーナ10周年行事に参加
- 6月12日 三原マスターズ水泳大会に出場



編集後記

初めての代表質問、日が迫ることに本人以上に緊張していたかもしれません(笑) 傍聴席にあふれるほどの方が駆けつけてくださり、百人力となりました。原稿を読み上げるスタイルの本会議ですが、第2・3質問では、議員・理事者側ともノー原稿で議論らしくなります。ぜひ一度議会の傍聴にご一緒しましょう。(K子)

ホームページ <http://www.kkochan.com/> メール orion@urban.ne.jp